旧熊本市民病院解体工事の工事再開について

厚生委員会　報告事項説明資料1

1．要望書・回答書

● **令和４年２月2日**

地元自治会・近隣住民代表から市長・市議会議長に「旧熊本市民病院解体工事及び跡地の利用に関する近隣及び地域住民の**要望書**」を提出

● **令和４年２月17日**

旧熊本市民病院解体対策室から地元自治会に上記要望書に対する**回答書**を提出

2．住民説明会

● **令和４年４月２６日**

第7回 住民説明会 を開催

参加者１７名（自治会　６名・近隣住民　１０名ほか）

⇒ 要望書の回答及び今後のスケジュール等について説明

【主な意見】

・ブレーカ工法をワイヤーソー工法に変更してほしい。

・工法の変更に伴い、改めて追加の回答書を周辺住民へ配付すべき。

・工事進捗に合わせて、振動騒音計の位置を移動してほしい。

⇒　上記内容を取り入れることを条件に、５月中旬からの工事再開へ理解をいただいた。

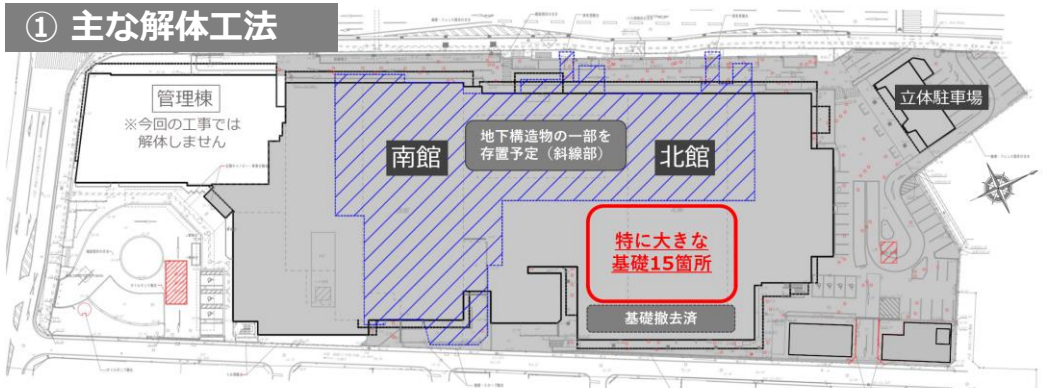
【説明会後の動き】

・一部ワイヤーソー工法を併用することを記載した追加の回答書と工事スケジュールを修正のうえ、５月１２日に住民へ文書を配布。

・５月１６日から工事を再開し、騒音振動等の対策を先行して行い、８月を目途に本格的な解体工事に入る予定。

3．工事再開後の解体工法・工事スケジュール・予算

① 主な解体工法



：**圧砕工法**による解体範囲

【特徴】
・部材を挟み油圧で圧砕する工法

＋

：**ワイヤーソー工法**による解体範囲

【特徴】
・部材に巻き付けたワイヤーを回転させ、部材を切断する工法

＋

作業の制約等により、部分的に**ブレーカ工法**により解体

【特徴】
・打撃を繰り返して部材を破壊する工法

・工事再開後は、主に「圧砕工法」により工事を実施
・特に大きな基礎（15箇所）については、「ワイヤーソー工法」により工事を実施
・作業の制約等により「圧砕工法」及び「ワイヤーソー工法」で解体できない部分については「ブレーカ工法」で工事を実施

② 工事スケジュール(予定)

年度・月 / 項目	令和４年度(2022年度)											令和5年度(2023年度)			
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
準備・各種対策工事	■	■	■												
土留工事				■	■										
基礎解体(地下階無)				「ワイヤーソー工法」の採用　2カ月　⇒　7カ月								立体駐車場基礎			
地下側壁解体(地下階有)										■	■				
産業廃棄物処分			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
後片付・検査															■

※天候や工事の進捗等により、スケジュールが前後する場合があります

③ 予算

・令和４年度の当初予算内で執行予定(562,491千円)

※工事完了が令和5年度となるため、令和５年２月議会において令和４～５年度の債務負担行為の補正を上程する予定